

# 墨水会だより

題字：32回 石出直子

(旧府立第七中学校) 都立墨田川高校全日制同窓会 発行責任者 小川浩平



## 表紙の写真

墨田川28回 墨水会副会長 山田 温

令和4年(2022年)撮影の墨田川高校北側からの航空写真(創立百周年記念誌用に撮影業者に依頼しドローンでの空撮による)。  
 令和5年(2023年)4月に発行した百周年記念誌18・19頁に掲載。  
 また令和6年度墨田川高校学校案内パンフレット表紙に活用。  
 正面に第一校舎及び体育館 平成元年～2年(1989年～90年)完成。  
 正面左に校庭 平成3年(1991年)整備完了。  
 右正面下に第二校舎及び屋上プール 平成13年(2001年)完成。  
 第二校舎西側のテニスコート以外のほぼ全景が見渡せる。  
 背後南南西に位置する高さ634mの東京スカイツリーは平成24年(2012年)竣工。  
 墨田川高校を中央に撮影した墨田区の景色が、50年後また100年後にどのように変化しているか、後輩の方々に是非とも確認していただきたい。

## 目次

新会長挨拶	2頁
前会長挨拶	3頁
学校長挨拶	4頁
事業報告	5頁～7頁
令和4年度会計報告	8頁
令和5年度予算	9頁
百周年事業報告 同会計報告	10頁
寄付金一覧及び寄付(ご報告とお願い)	11頁
一般財団法人 七星会 収支計算書	12頁
一般財団法人 七星会 収支決算経過表	13頁
高校13回 高木新太郎氏 瑞宝中綬章受章について	14頁
東京校歌祭について(第31回報告と今年度開催)	14頁
令和4年度合格実績及び令和5年度中間結果一覧	15頁
主な部活動実績 編集後記	16頁



### 会長就任挨拶

墨田川18回 小川 浩平

平素は墨水会運営にあたり格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

まずは、任期満了を迎え退任される梶原徳二前会長には創立百周年記念事業推進のため会長職を努められ、物心両面で多大なご尽力を頂き、心より感謝申し上げます。

さて、昨年10月の墨水会定期総会の役員改選決議により梶原会長の後任として、会長職を拝命いたしました墨田川高校18回卒業の小川浩平と申します。

社会での実績ある諸先輩方に比して同窓会での貢献も見劣りする私が諸先輩、後輩諸氏の推挙により会長の大役を仰せつかることとなりました。微力ではありますがお役に立てるよう努めて参ります。

私事ですが、平成6年に常任幹事として墨水会に携わり、平成8年より幹事長に就任し平成20年副会長となり今日まで30年間微力ながら責務を果たして参りました。その間、海谷利宏氏・井上常一氏・泉妻秀一氏・梶原徳二氏の4代にわたる会長の功績に接してま

いりました。社会での大きな貢献をされた先輩会長の支援を受けながら、同窓会運営を行っていく所存です。

私も本年5月には喜寿を迎える年齢です。頭の回路も然り身体全体も年相応に経年劣化が進んでいると自覚・認識しております。したがって自身を含め近年常任幹事の高齢化が進んでおり、墨水会役員及び常任幹事の若返りを図り学校支援活動や会員親睦を適切に行えるよう努め、多くの同窓生に育んできて頂いた墨水会が、永続的な活動を行うために常時世代交代が出来る体制を築きたいと思っております。

また、都立高校として例を見ない山と海に寮を持つておりますが、10年前より夏季休業中の生徒の利用がなくなり寮の存在意義が問われています。現在七生寮(軽井沢)・楽水寮(館山)共に数年前より老朽化による雨漏りや漏水等の問題が発生し、利用収入の大幅な減収により、維持管理が困難な状況で皆様からの寄付を賜ってまいりました。財団法人七星会として二寮維持が

むずかしい状況です。尚一般財団法人をやむなく解散した場合は、残余財産を国や地方公共団体に寄贈することになりますので、どちらかの寮を閉鎖し一寮維持にしなければならぬ緊迫の状況です。任期中にこの問題解決を図る覚悟で取り組んでまいります。

以上の問題解決に取り組みながら、今後も母校の良き伝統を継承しつつ、往年の輝かしい進学校として復活できるように生徒・学校支援も継続してまいりたいと思っております。

同窓会の運営には、会員皆様のご支援・ご協力が必須でございます。

皆様におかれましてはどうか前任者同様、温かいご支援を賜りますようお願いいたします。

結びになりますが、会員皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



### 令和5年 墨水会 役員一覧表

会長	小川 浩平 (高18回)
副会長	横井 正男 (高13回)
顧問	谷澤 尚樹 (高15回)
幹事長	竹鼻 宏子 (高15回)
副幹事長	加藤多恵子 (高15回)
会計	清澤 健一 (高17回)
会計監査	鈴木 憲康 (高18回)
顧問	山田 温 (高28回)
顧問	山内 雅哉 (高30回)
顧問	宮本 雄司 (高30回)
顧問	藤原 英明 (高43回)
顧問	杉崎 真嗣 (高45回)
顧問	山内 雅哉 (高30回)
顧問	藤原 英明 (高43回)
顧問	加藤多恵子 (高15回)
顧問	清澤 健一 (高17回)
顧問	宮本 雄司 (高30回)
顧問	石井 温 (高31回)
顧問	海谷 利宏 (高1回)
顧問	井上 常一 (高3回)
顧問	泉妻 秀一 (高8回)
顧問	梶原 徳二 (高4回)
相談役	内田 博万 (高4回)





### 前会長挨拶

墨田川4回 梶原 徳二

二〇二一年十月、泉妻会長より引き継いで会長職に推挙され学校創立百周年の一年前に会長に就任し、併せて百周年記念実行委員長の任にあたらせていただきました。

そして一年の間毎月百周年実行委員会を開催し、墨水会役員、学校長・教職員、美汀会、墨汀会の多くの方の協力で式典、祝賀会、記念誌、記念品など部会で計画・実施・予算案を計画いただき、墨田川高等学校創立百周年記念事業がコロナ禍においても、無事目標通り達成いたすことができました。これも渡邊校長・教職員、実行委員の皆様への献身的な協力のおかげと感謝するとともに、多くの会員の皆様に寄付金を賜り計画通り実施できましたこと、改めて厚く御礼申し上げます。

我が母校の発展を願いつつ、輝かしい進学実績を築き上げてきた歴史に思いを馳せ、学校・生徒に多少なりとも貢献できる環境整備を図る記念事業の目標も達成いたしましたと思っております。

す。また、図書館の改装によって学習意欲が高まるとのデータもあり百周年事業の一環として、私財で行うことを墨水会役員会の了承を得、東京都教育委員会の了解をも得て図書室全面リニューアルをさせていただきました。しかし、学校は東京都の施設管理下



新装なった自習室



新装なった自習室 (アクティブラーニングスペース)



新装なった図書室 (閲覧室)



入口より右側の図書棚  
左側は墨水会コーナーで卒業生・旧職員の著作物等を展示

にあるため柱や躯体変更はできませんでしたが窓際に閲覧できる設備を設置し、テーブル・椅子の全面リニューアル、母校出身者の著名人コーナーの改装、自習室コーナーを新設させていただきました。

現在図書室の利用し易さと、生徒たちの利用頻度が高まっていると学校長より報告を受けております。

今年で私も九十一歳を迎えますが、墨田川高等学校に対する母校愛は誰にも負けないと自負しております。今後も、墨水会への協力は惜しみません。会員の皆様も母校のためになお一層の協力をお願いしたいと思います。

ます。末筆ではございますが、任期中のご厚情に感謝するとともに皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。



## 七高の更なる飛躍のために

校長 渡邊 範道

令和六年の年明けは、能登半島での地震や羽田空港での航空機事故など大きな出来事が元旦早々から発生し、心が落ち着かない日が続きました。被害に遭われた方のことを思うと心が痛みます。

さて、早いもので私が昨年四月に第二十六代校長として着任してからまもなく二年が経とうとしています。この間、梶原前会長、小川新会長はじめ墨水会の皆様方には、本校の教育活動に対して多大なる御理解、御協力を賜りました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

百周年記念事業の一環として制作していただいた学校紹介DVDは、学校見学会や学校説明会に来校した中学生とその保護者、のべ二千名以上に視聴され、生徒募集活動に大きな効果を発揮しております。また、天文部に望遠鏡、吹奏楽部にサイレントベース、ダンス部には大鏡など的高額備品を御寄贈いただきました。

さらに、図書館リニューアルとして、七高ゆかりの卒業生や旧教職員の著作など記念資料の展示スペースの新設、閲覧

室の自習用机と椅子のリニューアル、現自習室のアクティブラーニングスペースへの改修等が行われ、教育活動において重要な役割を果たす図書館が、見違えるほど快適な空間に生まれ変わりました。

朝七時半からオープンしている自習室もすっかり定着し、夕刻六時まで自習する生徒たちもかなり増加しました。「飛躍への学びのために」と刻印した記念の銘板も設置し、まさに本校と本校生徒の今後の飛躍の可能性を感じさせる素敵な空間となっておりま。こうした百周年記念式典終了後も続く数々の記念事業に対し、改めて深く感謝を申し上げます。

生徒たちの学校生活も、まるでコロナ禍が遠い過去のことのように思えるほど通常の状況を取り戻しています。体育祭、七高祭、合唱祭の三大行事も盛会のうちを終了しました。二年次生の沖縄修学旅行も無事に終わることができました。部活動においても水泳部三年次生の横山君が全国高等学校総合体育大会(インターハイ)に二年連続で出場したのをはじめ、柔道部、女子バレーボール部など様々な部活動が都や区の大会で入賞し

ました。また、吹奏楽部が都のコンクールでA組B組とも金賞を受賞したのをはじめ、書道部や文芸部など文化系の部活動も活躍しています。これら学校行事や部活動での成果は全校集会で表彰するとともに、学校ホームページで紹介し、魅力ある学校生活の一端として広く発信しています。同窓生の皆様にも本校ホームページをご覧いただき、生徒の元気で活き活きとした様子から、若い世代が活躍の将来への期待を感じていただけたらと思います。

学習面でも新たな取組が順調に進行しています。英語四技能伸長を基礎に海外姉妹校交流等を行う国際教育は、姉妹校協定や語学研修の準備が整い、一年次生とその保護者向けの説明会を行いました。今後、新入生とその保護者対象にも説明会や募集を行い、いよいよ今年の夏季休業中の八月十八日に三泊五日の日程でシンガポールに向けて出発します。

また、生徒一人一人が、大学入学後、何をどう学ぶのか、そして大学卒業後、どう生きていくのかを考えるための「総合的な探究の時間」も積極的に推進しています。一年次生は、夏季休業中に「職業人インタビュー」を行い、「よいおとな」から職業や社会に関する様々な経験や考え方を聴き取って七高祭で展示発表しました。今後は、墨水会と一層の連携を深めていくためにも、同窓生の皆様を訪問しお話を聞かせいた

くなどの御協力をお願いしたく思います。二年次生は、千葉大学を訪問し、七高卒業生から大学生活についての体験談を聞くとともに、大学施設の見学、大学教授による模擬講義の受講など大学での学びを体験しました。

夏休み明けからは、一・二年次生とも、自らが立てた「問い」を探究することを通し、学びたい学問に通ずる事柄を大学教授や院生、卒業生などのアドバイスを受けながら体験的に学んでいます。こうした経験を生かし、三年次生の中には国立大学の「総合型選抜」に合格する生徒が出ています。今後も、こうした学びと出会いの経験を生かし、「これからの自分と社会を考える」探究活動を推進し生徒の「志」を育成していきます。さらに、これらの実践と生徒の活躍を、高校進学を控えた中学生とその保護者に対して効果的に発信し、本校を第一志望とする生徒の獲得につなげていきます。

七高は、生徒が大学をはじめとする新たなステージにおいて、より一層飛躍できるよう、今後とも新たな挑戦を意欲的に進めてまいります。同窓生の皆様におかれましては、これからも本校の教育活動の益々の充実と発展のために、変わらぬご支援とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



令和5年度

## 墨水会事業報告

令和4年7月1日〜令和5年6月30日

墨田川15回  
谷澤 尚樹

## 6. 第100回墨水会総会

令和4年10月5日

於 東武ホテルレバント東京

午後4時から60名の出席者で開催されました。

会長・校長の挨拶の後議事に入り、事業報告・会計報告・監査報告が行われ全て承認されました。

その後予算案の審議に移り、百周年事業に墨水会として3000万円を予算計上する事が了承されました。

最後に永年の墨水会活動に対する功績により海谷顧問、井上顧問、泉妻顧問、谷澤副会長へ感謝状が授与されました。

助の物品の購入等について担当より報告がありその後話し合いが行われました。

最後に今回の墨水会だよりの発行は記念誌発行と重なる為、どの様にするか話し合いましたが従来通り発行する事になりました。

## 9. 広報委員会

令和4年12月7日

於 墨田川高校同窓会室

6名の委員が出席し、墨水会だより30号発行に向けて、第1回目の会合を行い、今回も榊サトにお話しする事になり、次回に担当者と話し合う事になりました。

## 10. 広報委員会

令和4年12月15日

於 墨田川高校同窓会室

4名の委員が出席して榊サトの担当者として打ち合わせを行いました。

30号は百周年の記事を載せるため従来の16ページから20ページに増やし2000部作成する事にして、見積を取る事になりました。

## 11. 広報委員会

令和5年2月6日

於 墨田川高校同窓会室

6名の委員が出席して、集まった記事の校正、割付等の作業を行いました。

## 1. 役員会

令和4年7月19日

於 カジワラビル会議室

11名が出席して百周年事業へ墨水会としてどの様に取り組んでいったら良いのか話し合いが行われました。

又学校からお願いされた校旗の新調についてや、図書室のリフォームについては了承されました。

## 2. 役員会

令和4年8月21日 於 七生寮食堂

9名が出席して、百周年事業の進捗状況の報告と今後の取り組みについて話し合いが行われました。

## 4. 常任幹事会

令和4年9月6日

於 墨田川高校会議室

25名が出席して百周年事業、総会等について報告があり、話し合いが行われました。

又二寮の維持・運営について及び管理人についての報告があり、話し合いの中で様々な意見が出されました。

## 5. 役員会

令和4年9月21日

於 カジワラビル会議室

14名が出席し式典・祝賀会・総会について、最後の打ち合わせを行い、各担当より準備は整ったとの報告がありました。

## 8. 役員会

令和4年11月15日

於 カジワラビル会議室

12名が出席して百周年事業のうち残された記念誌発行について、又クラブ援

又、長い間広報委員長として発刊に努力された井上顧問と難波委員長より健康上の理由で委員を辞退したいとの申し出があり、今後の委員会のあり方について話し合いました。

## 12. 役員会

令和5年2月15日

於 カジワラビル会議室

12名が出席して百周年事業について話し合いが行われ記念誌・記念品・会計等についての報告がありました。その後、墨田川高校2階の図書室と、となりにある自習室のリフォームについて説明があり、最後に今年も卒業生に記念のクオカードを送りたいとの提案がありました。承認されました。

## 13. 役員会

令和5年2月22日

於 カジワラビル会議室

8名の委員が出席して百周年記念誌発刊に向けて話し合いを行いました。

## 14. 常任幹事会

令和5年4月13日

於 墨田川高校会議室

27名が出席して百周年事業の報告と今後の活動について話し合いました。

二寮の運営について45回生より報告があり、楽水寮については清掃・修繕等を行い開寮の準備を行う事、又七生寮

については8月21日より10月31日まで自分達で運営したいとの意見が出され了承されました。

その他

### ① 第5回百周年委員会

〔令和4年7月9日〕

於 墨田川高校L教室

墨水会から10名が出席しました。式典の2部でのプロジェクト使用での発表を行う事や、学校紹介のDVDの作成、記念誌を1800冊作成することが了承されました。

### ② 楽水寮視察〔令和4年7月22日〕

谷澤執行理事・清澤理事出張

4月・5月・6月の宿泊料金の精算を行いました。又夏季開寮について、宿泊予約者の確認等打ち合わせを行いました。

### ③ 七生寮開寮作業

〔令和4年7月26日・27日〕

谷澤・加藤・竹鼻・清澤・板垣の5名で、室内外の清掃や庭の草刈等の開寮作業を行いました。

### ④ 七生寮開寮

〔令和4年7月28日～8月21日〕

25日間、谷澤執行理事・清澤理事が交代で管理を行いました。この間の利用者は66名あり事故もなく無事終了しました。

### ⑤ 第6回百周年委員会

〔令和4年8月6日〕

墨水会から10名が出席し百周年事業について

打ち合わせが行われました。式典、祝賀会のアトラクションとして、47回宇関氏によるピアノ演奏が行われる事になりました。

又、生徒たちにはスマホスタンドを、寄付された方、祝賀会に出席した方、記念誌に寄稿した方には、江戸木箸を記念品として用意し又記念誌を渡す事になりました。

### ⑥ 第7回百周年委員会

〔令和4年9月3日〕

於 墨田川高校会議室

墨水会より11名が出席しました。各委員よりそれぞれの担当部署から進捗状況の最終報告がありました。又新調された校旗が披露されました。

### ⑦ 楽水寮視察〔令和4年9月12日〕

谷澤執行理事・清澤理事出張

7月・8月の宿泊料金の精算を行いました。網代管理人が新型コロナに感染し7月25日から8月7日迄閉寮しましたが、たいした混乱もなく無事終了したとの報告がありました。

### ⑧ 創立百周年式典・祝賀会開催

〔令和4年10月5日〕

式典はすみだトリフォニーホールで開催されました。

その後となりの東武ホテルレバント東京において200人以上の出席者のもと祝賀会が開催されました。

### ⑨ 校歌祭〔令和4年11月3日〕

於 杉並公会堂

今年度は新型コロナのため自由参加(参加

費無料)で参加校も少ない中、15名で参加し校歌と応援歌を歌いあげました。

### ⑩ 学校運営連絡協議会

〔令和4年11月5日〕

於 墨田川高校校長室

横井理事・小川副会長が出席しました。学校の現状とこれからの運営方法等の説明がありました。

### ⑪ 楽水寮視察〔令和4年11月29日〕

谷澤執行理事・清澤理事出張

9月・10月・11月の宿泊料金の精算を行いました。

又網代管理人より3月をもつて退職したいとの申し出があり、後任については何人か心あたりがあるので話してみるのと事でした。

### ⑫ 楽水寮視察〔令和4年12月17日〕

海谷墨水会顧問・谷澤執行理事出張

網代管理人より次の管理人候補が何人かいるとの事でしたので、話を聞きに行きましたが、やってみてもらえそうな候補者の何人かにあたってみたが、良い返事がもらえなかったのだからさらに探してみるとの事でした。

### ⑬ 田中夫妻と面接〔令和5年2月27日〕

於 宮本会計事務所

泉妻理事長・谷澤執行理事・海谷墨水会顧問出席

墨汀会の田中さんに楽水寮の管理人をお願いすべく話し合いを行いました。仕事内容・契約内容等の説明や、質問に答える形で話し合いを行い、理解を得ました。

又後日楽水寮へ来てもらい、現地を見ても

らうと共に網代さんと引継ぎの話をしてもらう事になりました。

⑭ 墨水会だより30号・小冊子名簿完成

〔令和5年3月3日〕

墨水会だより30号2000部、小冊子名簿230冊が完成し、㈱サラトから納入されました。

⑮ 学校運営連絡協議会

〔令和5年3月4日〕

於 墨田川高校会議室

梶原会長・横井副会長が出席しました。

墨田川高校の現状報告と来年度運営方針等の説明がありました。

⑯ 楽水寮視察〔令和5年3月7日〕

谷澤執行理事・清澤理事出張

網代管理人より引継ぎの説明を田中夫妻と共に聞くとともに、話し合いを行いました。

(翌日田中さんより仕事が大変すぎるので断りたいとの連絡がありました)

⑰ 墨田川高校卒業式

〔令和5年3月11日〕

於 墨田川高校体育館

梶原会長はじめ4名が出席しました。

⑱ 墨田川高校入学式

〔令和5年4月7日〕

於 墨田川高校体育館

梶原会長はじめ4名が出席しました。

⑲ 楽水寮視察〔令和5年4月11日〕

泉妻理事長・谷澤執行理事・清澤理事出張

網代管理人に感謝状と退職金として50万円をお渡しし、網代管理人より帳簿や小口

残金の返還を受けました。

又新しい管理人候補として室さんという方を紹介され、話し合いを行いました。

⑳ 楽水寮視察〔令和5年4月25日〕

海谷墨水会顧問・谷澤執行理事出張

室さんと2回目の話し合いを行いました。彼女は近くでペンションを経営していて、地域の活性化のためにも楽水寮の開寮に協力

したいとの事でした。

㉑ 百周年記念誌完成

〔令和5年5月8日〕

百周年記念誌が完成し、1600冊納入されました。

㉒ 七生寮視察〔令和5年5月10日〕

谷澤執行理事・清澤理事出張

星野リゾートと今年度の管理契約を行いました。水漏れについては地中の為はつきりとした場所が特定されないで修理には多大な費用がかかるとの事で、寮使用期間以外は元栓を切る事に対応する事にしました。

又寮の内外を点検し、雨漏等の異常が無い事を確認しました。

㉓ 郵送作業〔令和5年5月11日・18日〕

百周年記念誌・墨水会だより30号・記念品の箸等を寄付者・祝賀会出席者・記念誌寄稿者に郵送する作業を行いました。

㉔ 記念誌完成〔令和5年5月19日〕

表紙が厚紙のデラックス版の記念誌200冊が完成し、納入されました。

㉕ 楽水寮視察〔令和5年5月28日〕

谷澤執行理事出張

45回生6名が27日・28日の両日楽水寮の開

寮準備のため修理、清掃を行いました。又その後の片付や門の取付と鍵などについて点検と確認を行いました。

㉖ ㈱七生会理事会〔令和5年5月31日〕

於 宮本会計事務所

墨水会から9名・美汀会から2名・オプザバーとして45回生が3名出席しました。

事業報告・会計報告の後、今年度の二寮の運営方法について話し合いが行われ、楽水寮については新しい管理人を早急に探して

7月より開寮する。

又七生寮については従来通り7月27日より

8月20日までの期間開寮し、その後は45回生の運営で10月31日まで延期して開寮する事になりました。

㉗ 楽水寮 修理・清掃・片付け

〔令和5年6月4日・16日〕

45回生6名が参加して3ヶ所の外階段の修理及びバーベキュー小屋の撤去や庭の草刈、室内の清掃・片付け等開寮準備を行いました。

㉘ 楽水寮視察〔令和5年6月26日〕

谷澤執行理事・加藤理事出張

室さんと管理契約を結ぶ最終の打ち合わせを行いました。が色々話し合ううち条件

が折り合わぬ事が出現し契約には至りませんでした。

㉙ ㈱七生会の理事会・評議員会

〔令和5年6月29日〕

墨水会から11名・美汀会から3名・オプ

於 墨田川高校会議室

ザバーとして45回生が6名出席しました。

例年通り事業報告・会計報告等の後、45回生の杉崎氏より楽水寮の現状報告がありました。

又新しい管理人候補についての報告がありました。

㉚ 最後に

今回は百周年記念事業に墨水会は記念誌委員会・祝賀会委員会・式典委員会・記念事業委員会等を百周年事業の2年前より

発足させ、主体的に活動し何回も委員会を開き方針を決め、学校や業者と打ち合わせ

を行い、つつがなく事業を終了する事が出来ました事を御報告致しますとともにご

協力いただきました皆様にお礼申し上げます。

ありがとうございます。

㉛ 最後



寮維持のため活躍した墨田川45回生（七生寮にて）



## 令和4年度 墨水会会計報告

## 収支計算書 (令和4年度)

令和4年7月1日から  
令和5年6月30日まで

## 1 収入の部

(単位:円)

科目	金額	摘要
R4年度卒業生入会金	2,184,000	273名×8,000円
名簿代(R4年度卒)	1,173,900	273名×4,300円
名簿販売	4,300	1冊
寄付金	10,382,789	99名
祝賀会費	2,050,000	205名×10,000円
利子	4,249	定期預金・普通預金
当期収入合計(A)	15,799,238	

## 2 支出の部

科目	金額	摘要
墨水会会報費	509,300	2,000部 業者(サラト)への支払
小冊子名簿代	107,313	今年度卒業生分 320部 業者(サラト)への支払
百周年事業費	17,705,792	百周年普通預金支出額・小口支出会議費
通信費	103,873	切手代、郵送代、寄付金礼状作成費
会議費	244,680	常任幹事会、広報委員会、役員会等
校歌祭費	31,343	参加費等
御祝費	273,000	クオカード作成費(卒業記念)
渉外費	71,780	美汀会、墨汀会、七星会等
総務費	600,000	谷澤副会長業務費・交通費
総会費	0	60名出席(R4.10.5)会場費は百周年事業費に
雑費	22,303	振込手数料等
当期支出合計(B)	19,669,384	

## 3 当期剰余金の部

科目	金額	摘要
当期収入合計(A)	15,799,238	
当期支出合計(B)	19,669,384	
当期収支差額(A)-(B)	△3,870,146	
期首在庫品(C)	4,622,500	1,075冊×4,300円
期末在庫品(D)	3,444,300	801冊×4,300円
当期剰余金(A)-(B)-(C)+(D)	△5,048,346	前期剰余金 6,535,130

## 繰越金計算書

前期繰越金	60,763,104	
当期剰余金	△5,048,346	
次期繰越金		55,714,758

以上のとおり御報告申し上げます。

令和5年10月7日

墨水会 会長 梶原 徳 二  
墨水会 会計 谷澤 尚 樹

## 開始残高

令和4年7月1日

## 1 資産の部

(単位:円)

定期預金	38,000,000 (一般口座 22,000,000) (寄付口座 16,000,000)
普通預金	18,217,100 (一般口座 1,919,576) (寄付口座 16,297,524)
現金	187,504
在庫品	4,622,500
資産の部合計	61,027,104

## 2 繰越の部

繰越金	54,227,974
前期剰余金増加額	6,535,130
繰越の部合計	60,763,104

## 閉鎖残高

令和5年6月30日

## 1 資産の部

(単位:円)

定期預金	22,000,000 (一般口座 22,000,000)
普通預金	30,259,596 (一般口座 2,182,488) (寄付口座 12,852,448) (郵貯寄付口座 8,868,155) (百周年経費用口座 6,355,505) (小口受渡用口座 1,000)
現金	149,188
在庫品	3,444,300
仮払金	125,674
資産の部合計	55,978,758

## 2 繰越の部

繰越金	60,763,104
当期剰余金増加額	△5,048,346
繰越の部合計	55,714,758

## 監査報告書

墨水会定時総会議長 殿

令和4年度墨水会収支計算書及び諸帳簿関係書類を監査した結果、その数字は正確であり、かつ正当であった。

各帳簿、領収書、証拠書類の保存整理も整然としてあったことを御報告申し上げます。

令和5年10月7日

墨水会 会計監査 宮本 雄 司  
墨水会 会計監査 石井 温



## 令和5年度 墨水会予算

令和5年7月1日から  
令和6年6月30日まで

## 1 収入の部

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度実績額	増 減	摘 要
R5年度卒業生入会金	2,000,000	2,184,000	△ 184,000	入会者250名×8,000円
名簿代(R5年度卒)	1,075,000	1,173,900	△ 98,900	購入者250名×4,300円
名簿販売	0	4,300	△ 4,300	
寄付金	1,500,000	12,432,789	△ 10,932,789	
利子	4,000	4,249	△ 249	
収入合計(A)	4,579,000	15,799,238	△ 11,220,238	

## 2 支出の部

科 目	予 算 額	前年度実績額	増 減	摘 要
墨水会会報費	300,000	509,300	△ 209,300	2,000部
小冊子名簿代	150,000	107,313	42,687	320部
百周年事業費	1,000,000	17,705,792	△ 16,705,792	学校備品等(別紙報告書参照)
通信費	200,000	103,873	96,127	切手代、郵送代等
会議費	300,000	244,680	55,320	常任幹事会、広報委員会、役員会等
校歌祭費	100,000	31,343	68,657	参加費、広告代等
学校補助金	300,000	0	300,000	クラブ活動補助等
渉外費	100,000	71,780	28,220	美汀会、墨汀会、七星会等
総務費	600,000	600,000	0	担当者業務費・交通費
会計事務費	660,000	0	660,000	宮本会計報酬(総会資料作成費含む)
総会費	200,000	0	200,000	会場費等
予備費	300,000	273,000	27,000	卒業御祝費等
雑費	50,000	22,303	27,697	振込手数料等
支出合計(B)	4,260,000	19,669,384	△ 15,409,384	

## 3 剰余金の部

科 目	予 算 額	前年度実績額	増 減	摘 要
収入合計(A)	4,579,000	15,799,238	△ 11,220,238	
支出合計(B)	4,260,000	19,669,384	△ 15,409,384	
収支差額(A) - (B)	319,000	△ 3,870,146	4,189,146	
期首在庫品(C)	3,444,300	4,622,500	△ 1,178,200	801冊×4,300円
期末在庫品(D)	2,369,300	3,444,300	△ 1,075,000	551冊×4,300円
剰余金(A) - (B) - (C) + (D)	△ 756,000	△ 5,048,346	4,292,346	

令和5年10月7日

墨水会 会長 梶原 徳二  
墨水会 会計 谷澤 尚樹

# 百周年記念 事業会計報告 (令和6年1月30日時点)

百周年記念事業

会計 墨田川15回 竹鼻 宏子  
監査 墨田川30回 宮本 雄司

## 1. 収入の部

(単位:円)

科目	実績額	備考
墨水会	35,105,480	墨汀会 (10万円)・墨桜会 (5万円)・堤校舎 (10万円)からの寄付金を含む
パーティ費	2,050,000	205名
美汀会	3,000,789	789円は美汀会での積立利子相当額
預金利息	83	
収入合計	40,156,352	

## 2. 支出の部

### (1) 式典関係

科目	実績額	備考
会場付帯設備費	341,680	楽屋・音響・照明・パーテーション
式典用生花	99,000	生花
吊り看板(横断幕)	191,400	吊り看板取付、撤去、運搬
立て看板(会場案内板)	136,524	立て看板代、看板手書き
出演料(ジャズピアニスト)	400,000	ピアノ演奏 (式典及び祝賀会)
出演料(シンセサイザー関係)	275,000	シンセサイザーオーケストラ演奏
プロジェクターレンタル	448,250	映像機材レンタル
部活発表諸経費	167,590	立奏台(邦楽部)、Tシャツ(ダンス部)、ピアノ調律・琴調律(音楽部)、譜面台(吹奏楽部)
物品搬入経費	82,367	楽器運搬(トラック)、物品搬送(タクシー)
スライド作成費	526	DVD購入
式次第冊子	102,960	式典式次第
式典撮影編集費	30,000	式典・祝賀会写真撮影
賞状作成費	23,540	賞状作成
諸経費	69,351	名札、胸章、便箋封筒、アダプタ、目録
式典関係手数料	9,020	上記に係る振込手数料
式典関係合計	2,377,208	

公費60万円も式典に支出されました

### (2) 祝賀会

科目	実績額	備考
祝賀会費用	2,793,993	料理・設備代、ホテルピアノ調律、胸章リボン
祝賀会郵送料	75,692	切手、ハガキ、宅急便
祝賀会案内状作成費	122,430	案内状等作成
祝賀会式次第	30,250	祝賀会式次第
祝賀会会議費	80,830	集会室使用料、打合せ費用
祝賀会司会料	30,000	司会料
祝賀会手数料	1,980	上記に係る振込手数料
祝賀会合計	3,135,175	

### (3) 記念事業

科目	実績額	備考
学校紹介ビデオ	3,779,600	学校紹介映像撮影 (式典及び祝賀会撮影含む)
校旗	1,931,160	校旗製作
備品 (調理台)	12,705	調理台部品取替え (カジワラキッチンサプライ)
備品 (天体望遠鏡)	649,800	天文部天体望遠鏡
備品 (テレビ)	284,720	図書室設置用テレビ
備品 (サイレントベース)	337,590	ブラバン部サイレントベース
備品 (スポーツミラー)	186,244	ダンス部スポーツミラー
備品 (三連パネル)	157,520	展示用三連パネル
備品 (パソコン)	141,900	墨水会使用分
吹奏楽部公開練習費	192,990	会場費・撮影費
記念事業手数料	1,760	上記に係る振込手数料
記念事業合計	7,675,989	

### (4) 記念誌

科目	実績額	備考
記念誌製作費	3,757,600	百周年記念誌
記念誌郵送料	177,894	記念誌送料・原稿送付切手代
記念誌会議費	53,350	打合せ費用
記念誌合計	3,988,844	

### (5) 記念品

科目	実績額	備考
在校生用	435,600	スマホケース@360円(税込@396) × 1,100個
一般用	1,000,000	箸@2,200円×500膳 箱@165円×500 182,500円値引
記念品手数料	1,760	上記に係る振込手数料
記念品合計	1,437,360	

### (6) 共通費

科目	実績額	備考
共通会議費	186,140	打合せ費用 (墨水会小口現金支出)
共通雑費	13,050	印鑑、ゴム印
共通費合計	199,190	

科目	実績額	備考
支出合計 (1)+(2)+(3)+(4)+(5)+(6)	18,813,766	

## 3. 収支差額

科目	実績額	備考
収入ー支出 1.ー2.	21,342,586	

## 創立百周年記念事業としての備品寄付等について

創立百周年記念事業実行委員会では、同事業の一環として現役生徒が部活において希望しながらも学校予算では購入できない備品・物品を購入して寄贈する計画でした。各部活からの希望を集約し、選定委員会を設置して寄贈品を選定した上で、令和5年3月から12月までの間に①天文部に「デジタル天体望遠鏡(Unistellar eVscope2)」を、②吹奏楽部に「ヤマハ サイレントベースSLB-300」を、③ダンス部に「移動式スポーツミラー (4台)」を、④書道部に作品展示用の展示板(学校総務部と兼用)を贈呈しました。又図書室、自習室のリノベーション等について各所から感謝の意が伝えられ、有効に活用している旨の報告を得ています。

今後、引き続き数点の備品・物品の寄贈を実行する予定です。

又その他の支援として校旗の新調や、スマホスタンドを在校生へ、記念の箸を祝賀会出席者へ、記念誌を在校生、5,000円以上の寄付をされた方、及び記事を寄せていただいた方へ提供させていただきました事を報告申し上げます。

墨田川30回 山内 雅哉

# 第二十七回ご寄付のご報告

墨水会会計 墨田川15回 谷澤 尚樹

今回は四十八名の方から九十一万二千円のご寄付をいただきました。誠にありがとうございます。

今までにいただいた寄付金も四千万円以上になり周年事業や学校支援、寮維持等で使わせていただきました。

尚約二千八百万円の残金がありますが前記の事業を継続してまいりたいと存じます。今後もご寄付を募りたいと思しますので、ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

## 第二十七回寄付金一覧 令和五年一月より令和五年十二月末日

柳川 加津子	八木 三雄	張本 保昌	増田 達男	大島 有紀子	刀根 雅江	村田 和夫	海谷 利宏	七生会・大木 善夫
旧職員	9回	4回	旧職員	23回	旧職員	12回	1回	中20回
二万円	三万円	三万円	三万円	四万円	五万円	十万円	十万円	十四万三千円

富田 正則	石橋 健二	青柳 勲	荒川 博	土屋 弘吉	小山 唯史	鈴木 一慈	木場 藤一郎	川窪 澄雄
2回	2回	2回	中23回	中20回	18回	15回	13回	中22回
二万円	二万円	二万円	二万円	二万円	二万円	二万円	二万円	二万円

前田 清隆	別所 正美	石川 徹	加藤 多恵子	荒井 徹	小林 正治	高橋 清	富田 角次郎	黒川 保太郎	福川 光男	唐松 重義	片野 信弘・泰子	堀口 嘉信	辻田 耕作	佐々木 秀幸
24回	23回	20回	15回	15回	14回	14回	13回	13回	12回	9回	8回	4回	4回	3回
一万円	一万円	一万円	一万円	一万円	一万円	一万円	一万円	一万円	一万円	一万円	一万円	一万円	一万円	一万円

長澤 淑夫	上田 大平	田辺 かおる	本保 礼子	長谷川 昭	青木 二郎	宮川 功	鈴木 安昭	佐藤 佳世子	木村 幸生	江口 皇之	染谷 正人	山田 温	正村 和男	小松 進
28回	26回	46回	23回	19回	13回	13回	13回	7回	5回	中23回	35回	28回	28回	25回
千円	三千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	五千元	一万円	一万円	一万円	一万円



令和5年3月27日

## 一般財団法人 七星会 収支計算書

一般財団法人七星会 会計

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

墨田川15回 加藤多恵子

(単位:円)

## 1 収入の部

科目	予算額	執行額	執行見込額	増減	備考
1. 事業収入					
七生寮収入	300,000	198,000	0	△102,000	
楽水寮収入	1,000,000	1,646,000	0	646,000	1・2月分(3月精算) 133,000円未収計上済
2. 寄付金収入	0	0	0	0	
3. 預金利息	2,000	7,560	0	5,560	
4. 雑収入	0	1,241	0	1,241	国税還付金
5. 定期預金取崩額		5,000,000	0	5,000,000	11/28定期預金取崩し
当期収入合計	1,302,000	6,852,801	0	5,550,801	
前期繰越収支差額	3,417,847	3,032,170	0	△385,677	
収入合計	4,719,847	9,884,971	0	5,165,124	

## 2 支出の部

科目	予算額	執行額	執行見込額	増減	備考
1. 事業費					
給料手当	890,000	550,000		△340,000	網代分のみ(予算額には加藤・竹鼻含まれる)
臨時雇賃金	500,000	484,000		△16,000	
食糧費	0	0		0	
福利厚生費	10,000	4,999		△5,001	
通信運搬費	150,000	96,567		△53,433	
消耗品費	100,000	81,992		△18,008	
水道光熱費	1,000,000	951,834		△48,166	昨年度856,092円
保険料	150,000	157,490		7,490	火災保険(七生寮・楽水寮)
委託費	350,000	378,279		28,279	クリーニング・浄化槽(七生寮・楽水寮)
雑費	150,000	31,957		△118,043	
事業費合計	3,300,000	2,737,118	0	△562,882	
2. 管理費					
会議費	40,000	20,000		△20,000	
旅費交通費	350,000	229,080		△120,920	
印刷製本費	0	0		0	
修繕費	200,000	0		△200,000	
事務委託費	330,000	247,500		△82,500	
租税公課	400,000	374,975		△25,025	固定資産税(七生寮) / 収入印紙 / 満期利息国税
管理費合計	1,320,000	871,555	0	△448,445	
3. 固定資産取得支出					
内外部改修工事支出	0	0	0	0	
什器・備品購入支出	100,000	0	0	△100,000	
固定資産取得合計	100,000	0	0	△100,000	
4. 施設維持積立金	0	0	0	0	
5. 法人税・住民税・事業税等	211,000	211,000	0	0	
支出合計	4,931,000	3,819,673	0	△1,111,327	
収支差額	△3,629,000	3,033,128	0	6,662,128	

(参考) 損益

△1,966,872

0

今年度の開察については、開察期間も含め、どの様にしたら良いか(管理人問題等)新しい委員会で検討をされており、早急に結論を得たいと思っています。尚察に関する問い合わせは 090-9817-2213 七星会執行理事 谷澤尚樹(墨田川15回)までお願いします。

令和5年3月27日

## 一般財団法人七星会 収支決算経過表

一般財団法人七星会 監査  
墨田川30回 宮本 雄司

平成30年度から令和4年度まで

## 1 収入の部

(単位:円)

科 目	令和4年度(見込)	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
1. 事業収入					
七生寮収入	198,000	324,000	428,500	331,000	479,000
楽水寮収入	1,646,000	1,511,500	929,000	1,307,000	1,247,500
2. 寄付金収入	0	0	0	0	1,000,000
3. 預金利息	7,560	6,873	12,816	27,107	32,197
4. 雑収入	1,241	24,817	598,946	5,821	22,643
5. 定期預金取崩額	5,000,000	2,000,000	3,000,000	0	0
収入合計	6,852,801	3,867,190	4,969,262	1,670,928	2,781,340

## 2 支出の部

科 目	令和4年度(見込)	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
1. 事業費						
給料手当	650,000	844,000	844,000	844,000	844,000	
臨時雇賃金	484,000	404,000	366,000	474,000	528,000	
食糧費	0	0	0	0	0	
福利厚生費	4,999	4,999	5,140	7,760	7,760	
通信運搬費	96,567	106,245	111,191	109,388	115,870	
消耗品費	81,992	52,506	93,600	46,039	330,380	
水道光熱費	951,834	921,090	778,319	977,066	873,528	
保険料	157,490	157,490	145,790	135,440	135,720	
委託費	378,279	364,913	355,792	375,516	344,502	
雑費	31,957	59,304	47,173	128,434	44,646	
事業費合計	2,837,118	2,914,547	2,747,005	3,097,643	3,224,406	
2. 管理費						
会議費	20,000	0	40,000	40,000	40,000	
旅費交通費	260,080	327,320	291,560	356,720	402,840	
印刷製本費	0	0	0	0	130,000	
修繕費	0	61,704	590,600	659,208	62,478	
事務委託費	330,000	330,000	330,000	200,000	200,000	
租税公課	374,975	373,220	373,420	373,220	370,900	
管理費合計	985,055	1,092,244	1,625,580	1,629,148	1,206,218	
3. 固定資産取得支出						
内外部改修工事支出	0	0	0	0	557,280	
什器・備品購入支出	0	0	0	0	0	
固定資産取得合計	0	0	0	0	557,280	
4. 施設維持積立金	0	0	0	0	0	
5. 法人税・住民税・事業税等	211,000	211,000	211,000	211,000	211,000	
支出合計	4,033,173	4,217,791	4,583,585	4,937,791	5,198,904	
収支差額	2,819,628	△350,601	385,677	△3,266,863	△2,417,564	
(参考) 損益		△2,180,372	△2,350,601	△2,614,323	△3,266,863	△2,417,564

生徒の寮使用は平成26年に終了し、その後平成28年には美汀会の寄付もなくなりました。又墨水会からの寄付も令和元年より行われておりません。毎年200万円以上の赤字を計上しております。墨水会として新しいメンバーで寮問題検討委員をたちあげ(15回谷澤、16回池野、17回清澤、18回高橋、26回上田、30回山内、45回杉崎の各氏)出来るだけはやく今後の方針を決めて(七生寮を売却し、楽水寮をリノベーションして運営する)作業を進めて行きたいと思っております。

# 高木新太郎氏(高十三回卒)が

## 瑞宝中綬章を受章



墨田川13回 横井正男

高木新太郎(たかぎしんたろう)氏(昭和三十六年卒 高十三回)が、令和五年春の叙勲にて、「瑞宝中綬章」を受章されました。おめでとうございます。高木氏は成蹊大学名誉教授で専門は経済統計学です。平成三十年十月六日に開催された第九十六回墨水会総会において「教育概略史と大学の変遷」について、我が校の変遷も交えて講演して頂きました。高木氏の功績については、成蹊大学ホームページより引用させて頂き、以下にご紹介します。

『瑞宝中綬章は、長年にわたり公務等に従事して功労を積み重ね、成績を挙げた方に対して贈られる勲章です。』

高木新太郎氏は、教育の経済学・環境政策論・江戸東京学等の分野で成蹊大学の教育に尽力されるとともに、学外では専門性を生かし、わが国の国民経済計算体系(※)の実施・作成に対して大いに貢献され、

経済統計改定にも多大な影響を与えました。加えて、高く評価される著書・論文も多数発表する傍ら、延二〇〇本の解題・エッセイ等を連載し、一般への経済統計の普及・啓蒙にも努めました。

さらに、地域活動にも積極的に取り組まれ、墨田区教育委員会委員長や地域活性化を目的とした複数のNPO法人の理事長等を務め、これらのNPO法人における活動が東京都商店街グランプリの優秀賞にもノミネートされるなど、学術研究分野の発展・普及および地域活性化のための社会活動等に尽くした功績が高く評価されています。

『おめでとうございます。』

※GDPをはじめとした国の経済を構成する生産、消費・投資といったフロー面や、資産、負債といったストック面を体系的に記録するための国際的な基準。

# 第31回東京校歌祭について

墨田川17回 清澤健一

令和5年度の東京校歌祭は12月3日(日)午後12時から渋谷区の明治神宮隣の国立オリンピック記念青少年総合センター大ホールにて西、三商、石神井、竹早、千歳、両国、小松川、文京、九段、新宿、武蔵丘、墨田川、江北、豊多摩、白鷗、一商、立川、小山台

高校の18校の参加で開催されました。3年ぶりの開催と、12月は学校の試験とも重なったため、現役生が参加できなかった学校もあり、参加数がかかなり減少しました。

晴天に恵まれ終了時間も予定通り暗くなる前に終わらせることができました。当日はTBSラジオが西高の練習風景を生放送しました。

墨田川高校は14時10分から応援歌3番、川の流れのように1番、校歌4番までを歌いあげました。終わった後、大ホール入り口で記念撮影をして自由解散しました。

令和6年度東京校歌祭は10月27

日(日)杉並公会堂で行われます。墨田川高校同窓会も定期的なリハールを行い参加者数を増やし校歌祭に気楽に楽しく大勢で参加できるように準備したいと思っておりますので協力お願い致します。







# 今年度の主な部活動実績

## 書道部

第38回高円宮杯日本武道館書写書道大観覧会  
 【毛筆の部】日本武道館奨励賞・日本武道館賞  
 【硬筆の部】日本武道館賞  
 第38回読売書法展入選  
 第31回国際高校生選抜書法展入選

## 英語部

「第18回青少年英語スピーチコンテスト」に本校の英語部の2年次生2名が出場

## 家庭科部

「衣料支援プロジェクト」の一環として「地球にやさしい衣料品の活用方法」に参加  
 日本衣料救援センターに古着の寄付を行った

## 吹奏楽部

第63回東京都吹奏楽コンクール  
 A組：金賞、B組：金賞

## 写真部

第45回 東京都高等学校文化祭  
 写真部門中央大会 入賞

## 文芸部

東京都高文連文芸部門地区大会  
 俳句部門 優秀賞 短歌部門 佳作  
 東京都高文連文芸部門中央大会  
 短歌部門 最優秀賞 ※鹿児島総文祭参加

## 女子バレーボール部

高体連春季大会 ベスト48  
 高体連インターハイ 予選 ベスト80  
 高体連夏季大会 第3位  
 高体連新人大会 ベスト48

## 女子バスケットボール部

高体連新人大会 3回戦出場

## 柔道部

関東大会 出場(個人)

## 水泳部

※すべて個人ですが。。。インターハイや国体に出場しています

第74回関東高等学校選手権水泳競技大会  
 男子100m平泳ぎ 2位  
 男子200m平泳ぎ 8位  
 第91回日本高等学校選手権水泳競技大会  
 男子200m平泳ぎ B決勝2位(10位)  
 男子100m平泳ぎ B決勝3位(11位)  
 特別国民体育大会水泳競技大会  
 男子少年A200m平泳ぎ 5位(個人)  
 男子少年A400mメドレーリレー 5位(東京代表チーム)  
 第46回(2023年度)全国JOCジュニアオリンピック夏季大会  
 男子CS200m平泳ぎ 4位(個人)  
 男子CS100m平泳ぎ 3位(個人)

チーム成績(公式戦)は  
 東京都高等学校新人水泳競技大会 男子総合8位

## 編集後記

昨秋、創立百周年記念事業の残り「図書室及び自習室の大改修」を梶原前会長のご尽力で終えました。後輩たちは学力向上に向けて有効に活用している様です。

今年度は後任の新会長に十八回生(昭和四十一年卒)の小川浩平氏が就任しました。更に新役員も迎え若返り、次の百年に向けてのスタートを切りました。「墨水会だより」は、例年より早くなった卒業式に間に合わせるべく、広報委員は寒冷の年末年始に集い編集を行い、今回はこれまでに準じたもので仕上げました。今後は、ホームページと併せて、より一層充実させるべく努めてまいります。皆さんの投稿・ご提案を奮ってお寄せ下さいますよう、宜しくお願い致します。



墨水会広報委員長 一五回 谷澤 尚樹  
 広報委員 一三回 横井 正男  
 " " 一五回 竹鼻 宏子  
 " " 二八回 山田 温

## 「墨水会だより」 第31号